



栗東中学校 家庭学習の手引き

これからの社会では、一人一人の生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにと考えられています。その社会で役立つ力をつけるために、普段の生活習慣や家庭での学習習慣を適切なものにしていくことが大切です。この家庭学習の手引きは、そのポイントを整理したものです。内容をよく理解して、自分の力を伸ばしましょう。

学びの基礎を広げよう



○自分の意見を伝えましょう。

現代は、情報を発信する力が大切です。ですから、さまざまな機会を通じ自分の意見を正しく伝えることが要求されます。栗東中学校での話し合い活動をもとに、家庭でのおうちの人との会話で自分の意見を整理し伝えることも良い練習になるので、たくさん会話をしてコミュニケーション力を高めましょう。

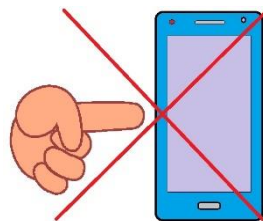
○本や新聞を読みましょう。

実際に体験することは、とても大切ですが、時間や環境に制限があります。直接体験できないことを補うには、本や新聞が適切です。(ネットの文章には、無責任なものも見られるので注意しましょう。)
「正しく読む」習慣を身につけましょう。

○学習の機会を利用しましょう。

テスト前の質問教室で疑問に思うことを聞いたり、日頃から職員室前の学習スペースを利用したりして、自分で学習の機会をとらえて習慣づけることが大切です。

学びの姿勢をつくらう



○自分の目標を持ちましょう。

学びは、何のためにするのでしょうか。これから先、皆さんが意欲的に学習するためにも、「将来、〇〇ができるようになりたい。」という目標があれば、「そのために学ぶ」と意識がはっきりします。ただし、社会は、学校の教科で分けられるものではありません。「この教科はいらない。」というものはありません。

○学習環境を整えましょう。

学習環境は、参考書等を揃えるよりも集中できる環境にしておくことが大切です。テレビやパソコン、タブレット、スマートフォンなどの情報機器は、上手に使用すればとても便利なものですが、必要な時以外は、「手元に置かない」、「電源オフ」にするなど、学習に集中できる環境を作りましょう。

○学習時間を決めましょう。

家庭学習は、毎日の習慣です。何時～何時は、学習の時間と決めて、それが「当たり前」になることが必要です。その日ごとに予定を変えていると、どんどんやらなくなってしまいます。学んだ量は、「学習時間×集中度」です。集中できる時間を確保しましょう。

自分の学びをのばそう



○誰のために、何のために学ぶのかを理解しましょう。」

勉強が好きでたまらない人は少ないと思います。それでも努力すべき理由を知っていればがんばれるはず。そうすれば、人のものや解答を写すことの無意味さや、取り組む姿勢の大切さにも気付くはず。です。

○予習・復習をバランス良く行いましょう。

授業中、困らないように、それまでに調べておく内容(英単語の意味など)を予習することは、重要です。ただ、復習も大切です。人間は、どんどん忘れる生物です。でも、すぐに忘れていては、学習が深まりません。習ったことをその日のうちに、もう一度確認直すことで、学んだことが消えにくくなります。復習にも、毎日取り組みましょう。

○実際に書きましょう。

情報機器(スマホ、携帯、PC、タブレットなど)の進歩によって、文字を入力する機会は、増えていますが、実際に鉛筆やペンで文章を書くことも大切です。特に、自分の考えをきちんと書き表せる力をつけるためにも、普段からの家庭学習で繰り返し取り組むようにしましょう。

○漢字・単語などは、正確に覚えましょう。

情報機器へのタイピング入力では、難しい漢字もすぐに変換してくれます。でも、実際に自分で書く時に「なんとなく覚えている」では、なかなか書けません。繰り返し練習することで、正確な記述ができるように心がけましょう。